

# 本場台湾のお茶・食文化を日本へ タピオカや茶葉にこだわったドリンク 本格的なお茶メニューからポップなソーダまで

Bull Pulu



加藤副社長イチオシ！  
「黒糖ミルクティー」



今年6月にオープンした  
アトレ川崎店のスタッフのみなさん

連日長い行列の続くタピオカミ

ルクティー専門店「Bull Pulu」を展開するJ・J（川崎市川崎区港町）は、タピオカドリンクなどの台湾スイーツやフードを提供する飲食店運営を手がけている。同社の加藤美保副社長は、約7年前の台湾渡航を振り返り「タピオカドリンクにとっても感動した。日本で飲んだものとは味も食感も違い、お茶も香り高く種類も豊富。台湾の人は、タピオカを入れたり、好みのカスタマイズでお茶をはじめさまざまな飲み物を日常的に楽しんでいる。その文化を日本人にも体感してほしい」という。

同社のタピオカは定番のミルクティーとの相性の良さを考え、本場台湾から粒の大きいブラックパールを直輸入し、店内で長時間煮込んで味を染みこませる。国内でも珍しい黒糖味とモチモチ食感が強い。また、茶葉本来が持つ味わいをより引き出すブレンド比を研究し、香り豊かで濃厚なお茶を

提供している。

メニューは、ミルクティー（M 350円）、黒糖ミルクティー（同 450円）、ピーチ烏龍茶（同 380円）など。「定番のミルクティーも人気だが、黒糖の雑味を、除き、コクやまろやかさを追求して何度も試作を重ねた黒糖シロップを入れた黒糖ミルクティーもお勧め」と加藤副社長はこだわりを語る。

店名の「Bull Pulu（ブルプル）」は「私の愛犬がブルドックで、その『ブル』と、タピオカの『プルプル』食感から取り、親しみやすい名前にした」と笑い、「今後も台湾のドリンク文化を広め、日常的に楽しめる価格で提供していきたい」と副社長は意気込みを覗かせる。

東京・神奈川・埼玉と関東を中心に20店舗以上を展開している。まずはホームページ（<http://www.bullpulu.com/>）へ、そして店頭へ足を運んでみてください。